

神戸看護専門学校創立 60 周年に寄せて（ご挨拶）

公益社団法人神戸市民間病院協会

会長 西 昂

神戸看護専門学校創立 60 周年、誠におめでとうございます。

私は平成 8 年から兵庫県私立病院協会(現、兵庫県民間病院協会)の役員として学校運営に携わり、平成 12 年からは神戸看護専門学校の副学校長、平成 22 年から学校専務理事を務め、そして平成 28 年からは神戸市民間病院協会の会長として学校運営にあたっており、この度創立 60 周年を迎えましたこと感慨もひとしおです。これまでに学校運営に努力してこられた先輩諸兄に感謝申し上げるとともに、他界されました先生方には心より御冥福をお祈り申し上げます。

平成 22 年に創立 50 周年を迎えて記念誌を発行しましたが、今回 60 周年記念を迎えるに当たって 50 周年以降の神戸看護専門学校の事業実績、課程や学生定数の変遷に加え、運営母体である神戸市民間病院協会の組織変更も併せて記し、今後の運営の励みとするべくこの記念誌を編成いたしました。

神戸看護専門学校では平成 22 年 3 月に 2 年課程定時制(第 1 学科)、平成 23 年 3 月に 2 年課程全日制(第 2 学科)が廃止され、平成 23 年 4 月から 3 年課程の運営のみとなりました。

平成 24 年 6 月には、神戸看護専門学校の運営を継続していくために一般社団法人兵庫県民間病院協会から分離独立して「一般社団法人神戸市民間病院協会」を設立し、さらに平成 25 年 2 月に公益法人化を成し遂げ「公益社団法人神戸市民間病院協会 神戸看護専門学校」として現在に至っております。

その後、平成 26 年 4 月からは会員病院等の看護師不足に対しこれまで以上に対応するべく 1 学年の学生定員を 60 名から 70 名へと増員いたしました。

また、同じく会員病院等の看護師不足に対応するため、平成 27 年 4 月から有料職業紹介事業を開始しており、看護師を会員病院へ紹介しております。

今後は看護補助者等の不足に対応するため、外国人労働者等の採用に向けても当協会として取り組む予定です。

毎年の看護師国家試験の合格率は、95%~98%であり全国平均を上回る実績を上げております。また、本校卒業生の 70%~80%が会員病院を始めとする兵庫県内の病院に就職する等本校の設立目的を十分に果たしてまいりました。

これもひとえに行政並びに会員病院各位のご協力ご指導を賜りましたことや、講師の諸先生方のご尽力、本校の教職員方の努力の賜物と感謝しております。

地域包括ケアの構築が推進されている中、看護師の需要はますます高まっています。今後も会員病院の皆様方の期待に応えていくため、本校全職員が心を併せて努力してまいりますので皆様方のご支援よろしく願いいたします。